

困難を乗り越え 高い競争力の中国工具へ

中国プロジェクト
執行役員

ゆ しん けつ
愈 箴 潔



2022年を振り返ると、激動の一年だったと言える。急激な円安、新型コロナウイルスの影響による中国のロックダウンと行動制限、ロシアとウクライナの戦争によるエネルギー価格の急騰など輸入商社にとって、険しいビジネス環境に置かれた。お客様に多大なご心配をおかけしたが、厳しい困難を乗り越えるために弛まぬ努力を重ねてきた。

“行動制限の中で納期をいかに守るか”奮闘する中国メーカー

新型コロナウイルスの影響で、中国各地の工具部品メーカーが行動制限を余儀なくされた。こうした中でも、取引先のメーカーはお客様へ納期を守ることを最優先に考えて、従業員が工場に泊まり込んで生産を続けて、高品質の製品を日本のお客様に届くよう対策を行ってきた。当社でもメーカーの努力に対応して、ロックダウンのような不測の事態に対応するBCP対策として、中国国内で、第二、第三の代替の出荷拠点を設けてリスクを回避してきた。コロナ禍にあっても、高品質の製品の納期を守り、日本国内に届けられるように尽力してきた取引先に心から敬意を表したい。



“円安の影響は最小限に” 粘り強く交渉

昨年、人民元相場は、年始に1元=18円から急激に円安が進み、年末には1元=20円にまでなつて為替差損が拡大した。さらに、原油価格が高騰し、社内でも困惑が広がった。メーカーにも粘り強く交渉を重ねて、出来るだけ値上げ幅を最小限で協力していただくことに成功するとともに、コスト削減を重ねて、お客様への負担をできるだけ少なくできるよう心掛けた。

アメリカの利上げのペースが減速し、急速な円安が収束するという見方もあるが、先行きは不透明だ。厳しい円安を乗り越えるため、強靱な体質となることで、より高品質でコストパフォーマンスの高い中国製品を提供できるように改善を続けていきたい。

“困難に強い新商品の発掘”

2023年は全世界で「WITHコロナ」時代に突入し、自動車EV化の加速、衛星通信技術の発展に加えて、新エネルギーが開発され普及していくことが予想されている。商社として情報収集力を磨いて、お客様に必要とされる優れた商品を発掘することで、自社の優位性を発揮して業績の向上を目指していきたい。

その中でも、20年間で培った調達のネットワークがある当社が選んだ今年の注目メーカーを紹介したい。

注目
メーカー

サイヨー (SAIY)

値上げラッシュが止まらない中、中国の高品質砥石専門メーカー サイヨーホイール (SAIY) に注目が集まっている。サイリ (SAILI) ブランドで約10年前から取り扱いを行っているメーカーだが、急成長を遂げ、新工場建設と共に社名が一新された。中国では日本よりも多くの工具メーカーが存在し、その多くが中国製の砥石を使用している。中国製の砥石は、原材料の多くが国内で調達できるため、値上げの影響を緩和できるのも特徴だ。工具メーカーの成長と共に砥石メーカーも拡大して、その中でも、サイヨーはトップメーカーの一つとなった。中国では工具製造でも生産性が重視され、高能率加工を追求したハイブリットボンド製品が重用されていて、去年のJIMTOFでもサイヨーが注目を集めた。

日本国内では工具研削用ホイールを中心に販売していて、集中研磨室、工具メーカー向けに納入実績が多数ある。納期も5-6週間で、日本のお客様からも非常に好評だ。今後は生産ラインでの製品研磨の採用も目指す。



サイヨー 砥石の応用範囲

注目
メーカー

北京ワールドダイヤ

北京ワールドダイヤはMANANOVAシリーズのCBN、PCD標準のインサートシリーズを販売している。すべてがメーカー在庫で短納期が可能だ。

焼き入れ鋼材用コーティングCBNインサートは、汎用性が高く、マルチコーナーでコストパフォーマンスが抜群だ。

エレメントシックス社のCBN原材料を使用しており、鋳物、粉末合金加工用CBNインサートも完備している。標準品で対応しきれないお客様には、使用条件に合わせたカスタマイズ品の提案力も強みとなっている。



北京WD製標準インサートシリーズ